科目名	地域・在宅看護方法論Ⅲ―2	対象学年・時期	2年・後期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	1単位・30時間（内15時間）
講義概要	ディプロマポリシー2、5に基づく。対象が自宅で安全に療養生活を継続し、医療処置に取り組むためには、医療処置の基本的な知識が必要となる。また、在宅では限られた資源で、経済性を考慮した簡易な方法で実施される。 本科目では、対象に必要な医療処置について、原則を保ちながら対象のリスク管理や療養生活を継続して送るための援助技術を学ぶ。		
講義形態	講義、演習(グループワーク)		
学習目標	１．自宅で行われる医療ケアの原理原則が理解できる ２．在宅で行われる呼吸管理に関する医療ケアが理解できる ３．在宅で行われる栄養管理に関する医療ケアが理解できる ４．在宅で行われる排泄に関する医療ケアが理解できる ５．在宅で行われる薬剤投与に関する医療ケアが理解できる		
学習内容 (授業計画)	1回目：在宅における医療処置を伴う援助技術の理解 喀痰吸引、気管カニューレ交換・管理 2回目：在宅人工呼吸療法・在宅酸素療法 3回目：在宅経管栄養法・経腸栄養法 4回目：持続皮下注射と服薬管理 5回目：在宅中心静脈栄養法 6回目：膀胱留置カテーテル、自己導尿 7回目：在宅褥瘡管理、ストーマケア 8回目：終講テスト		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ　在宅療養を支える技術　メディカ出版		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	基礎看護学の授業資料やテキストを読んで、各看護技術の原理・原則を確認して授業に臨んでください。 該当テキストの当該箇所を読んで受講してください。		
評価基準と 評価方法	筆記試験		
備考			